

第4回中井町総合計画審議会議事録

日 時	2016年02月03日(水) 15:00~17:00
出席者	資料参照、アルパック：3名 欠席：金子貴司氏(代理出席：曾我商工振興会副会長)
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p>1) 基本構想(案)に関わるパブリックコメント意見について</p> <p>2) 基本構想(案)の答申について</p> <p>3) 基本計画策定スケジュールについて</p> <p>4 その他</p>
議 事	<p>●会長、○委員、◎事務局</p> <p>1 開会</p> <p>事務局 ◎権守企画課長より開会のあいさつ</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>会長 ●諸坂会長より挨拶</p> <p>【前回の経緯】</p> <p>会長 ●12月に行われた第三回審議会で、町長より基本構想案に対する諮問を受けた。第三回の審議会として総合計画にかかる序論部分、パブコメ対象となる基本構想について、皆さまからご意見を頂戴し、最終的には会長預かりとして町に意見を戻した。年明けから現時点までパブコメの手続きが終了し、本日は基本構想案にかかるパブコメの意見を町から紹介して頂き、町の見解を参照しながら、第六次総合計画の基本構想部分についてこの審議会として答申案をまとめるという作業になる。</p> <p>3 協議事項</p> <p>事務局 協議事項(1)基本構想(案)に関わるパブリックコメント意見について</p> <p>・資料1にもとづき説明、および協議</p> <p>【説明】</p> <p>事務局 ◎12月24日から1月14日までの22日間で実施。素案の公表方法は、町の公共施設における閲覧とホームページによる掲載の二通り。提出方法は郵送、ファクシミリ、電子メールおよび持参による提出。意見は4名の方から4件の意見。</p> <p>【協議】</p> <p>会長 ●パブリックコメントは法的拘束力があるものではありませんが、町民のご意見に対して町がどう考えよう進めていくかという政治的な意味でも説明責任の場としては非常に重要視される地方自治体の制度です。基本的にパブリックコメント対象外に関する意見が多数になっているので、対象となる意見を中心にみなさまでご議論頂けたらと思います。</p> <p>重田委員 ○町の考え方が出ていますが、意見を述べられた方に対する回答はすでに終わっているのでしょうか、これからするというのでしょうか。</p> <p>事務局 ◎考え方は整理されているのですが、今回ご意見いただいた方が匿名での提案ということになっていますので、町としてはホームページ等で公表していきたいと思っています。現時点ではまだ公</p>

	表はしていません。
雑色委員 会長	○将来像にビックリマークやハートマークなどは無くても良いのではないかと思います。 ●それについては後ほど議論しましょう。
雑色委員 会長	○意見3について、「首長の任期に合わせて総合計画を立てて」と書かれていますが、任期に合わせると4年になります。そうした自治体はあるのでしょうか。 ●それは自治体によってまちまちです。研究者としての一見解ですが、首長の任期には合わせないほうが良いと思います
雑色委員 会長	○意見3は対応として「D」でも良いと思います。3～4年で総合計画が変わっては総合計画とは言えないと思います。 ●首長が交代するたびに計画が変わっていくとなると、行政の継続性や安定性に大きな問題があります。安定的な行政運営をしていく上で、首長が変わるたびに総合計画が変わってしまっは、結局は住民が振り回されるだけになるので、任期に合わせないほうが良いと思います。ご意見として伺って、「D」でも良いと私も思います。
会長	●パブコメへの回答については、今の委員の意見を踏まえて修正すべき点があれば、参考にしながら Webなどで公表をお願いしたいと思います。
	協議事項（2）基本構想（案）の答申について ・資料2にもとづき説明、および協議
	【説明】
事務局	◎今日の時間の中で案を作ることは難しいとの考えから、事務局で用意させて頂いたたたき台をもとにご議論頂き、本日ご意見いただいたものを、事務局で再度精査しながら答申案としてまとめていきたい。
	【協議】
会長	●答申案の項目2の一行目、「自然環境と調和し」のあとには「、」を打ったほうが良いかと思ます。また、項目3と4の段組みのところですが、ずれているように見えるので形式的なところですが、修正して頂いたほうが良いと思います。 冒頭部分の2段落目二行目の「里まち♥なかい」実現にむけ・・・というところには、「の実現にむけ・・・」とした方が良いのではないかと思います。 項目1の一行目、「若い世代の転入促進を図り」の部分は、「若い世代の転入促進を特に図り」と「特に」を入れましょう。若い人だけと解釈されても困りますから、特に若い人たちに入ってきてもらいたいとしたほうが良いと思います。 項目2の二行目に「集積」とありますが、「集約」だと思ます。集積だと積み重ねていってしまうので、集約の方が適していると思ます。
芦田委員	○項目2のところですが、「コンパクトに集約された」となっていますが、「コンパクト」とすると、そのために何か開発をするようなイメージにとられると思ます。
会長	●コンパクトシティという言葉がありますので、これを連想させる意味においては、敢えてコンパクトという言葉を出したほうが、イメージが掴みやすい気がします。
小松委員	○中井町は間に山を挟んでまちが分かれてしまっているの、コンパクトというどちらかに偏ってしまうのではないかと感じました。今現在でも分断されているような感じがしています。
芦田委員	○コンパクトに集積にしても、集約にしても、その言葉を入れる必要があるのかと感じます。

小松委員	○半分は商業に特化して、半分は観光に特化してというような別々の開発の仕方もあるかと思いますが、まち全体を考えると今でも山を挟んでいることは障害になっていると思います。
事務局	◎コンパクトというのは、町内に一つにということではなく、役場周辺、井ノ口公民館を中心とした井ノ口地区の拠点など、必ずしも一つという考え方ではないと思っています。今は町内だけで医療や買い物などが完結せず、外に出ないと満たされない状況なので、そうしたものをできるだけ町内で集約して、身近な生活は町内で完結するような意味合いを込めてこうした表現にさせて頂きました。
会長	●そうすると、「コンパクトに集約された」という言葉で良い気がします
小松委員	○現時点では分断されているイメージがありました。
会長	●これからは山を越えずにそれぞれの場所を拠点として、買い物や医療福祉を受けられるように充実させていきましょう、という形であれば良いですね。住んでいる場所で自己完結できるように、町の生活機能を一定のエリアにコンパクトに集約しましょう、というイメージなら良いですね。
芦田委員	○そもそも集約するというのは、開発するようなイメージに捉えられます。単純に「買い物、医療などが便利で充実した」ということで良いと思います。「コンパクトに集約した」となると、どこかに新たに作るのかというイメージになりますが、中井町にそうした計画はないですね。
会長	●今の事務局の説明ですと、そうしたイメージではないでしょうか。
芦田委員	○例えば、井ノ口で開発しようとしているところのイメージをもって言われているなら分かりますが。
副町長	○考え方としては、拠点としては一つにまとまれば良いでしょうということです。中村地区とすれば役場を中心とした地区としての拠点、というイメージです。拠点も整理していく必要があると考えています。
会長	●中井町の場合分断されている感覚があるからこそ、コンパクトに一か所で自己完結するように、生活機能を集約させましょうというイメージだと思います。実施計画などの段階になると、バス停を作るなど具体的な話になってくると思いますが、まだそこまで議論する段階ではないので、一つの町のイメージ図としてはコンパクトシティ的な発想でいきましょうということだと思います。
咲間委員	○項目3の「子どもからお年寄りまで」というところですが、「お年寄り」は「高齢者」という言葉の方が良い気がします。公的な文書では「高齢者」という言葉が使われていますし、「お年寄り」という言葉に対して拒絶感を持つ方も少なくないと思います。
会長	●私は肯定的に捉えていて、あえて柔らかい表現にしたのかと思いました。
咲間委員	○確かに印象は「赤ちゃんからお年寄り」のような言葉の方が、温かく聞こえるように思います。
会長	●「子ども」の方を「赤ちゃん」にしましょうか
咲間委員	○「子ども」とした場合、児童を含めたイメージとなると思うのですが。
平井委員	○私はこのままで良いと思います。
会長	●答申書は町長に出す文書なので、一般の町民の方に向けて広く分かりやすい言葉である必要性はないものですので、このままでいいのではないのでしょうか。
咲間委員	○それなら今のままで良いと思います
雑色委員	○項目4について「評価を実施」とありますが、評価基準を今後のつくるのでしょうか。また、「適切な進行管理」とありますが、どういう風にするのが適切な進行管理になるのでしょうか。実施計画は3年でローリングするとのことですが、トータルの目標が無いなかでどうやって進捗率などを出すのでしょうか。町としてイメージはあるのでしょうか
事務局	◎外部評価を取り入れることを検討しています。現在は内部だけの評価なので、PDCAを回すために外部からの評価を事業評価として導入してはどうかと先進事例を検討している最中です。この点

	<p>については、諸坂先生とも調整をし、来年度導入に向けて検討しているとご理解いただけたらと思います。</p> <p>評価基準については、現在検討中ですのでまだ出ていませんが、町として町民に示せるような評価基準が出来れば良いと思っています。</p> <p>また、本計画の進行管理については、実施計画は雑色委員おっしゃる通り3年に1回ローリングしています。現在は予算査定の前さばきという形で評価をしているので、この点についてもどういいう評価方法が良いのか、議論をしていかなければならないと考えています。これらについても諸坂先生からもご意見を頂きながら決めていきたいと考えています</p>
会長	<p>●項目4を入れるか入れないか議論をして頂きたい、というのが私の個人的な意見です。この項目4については、第五次基本構想の答申にも載っており、それに基づいて来年度に行政評価委員会を立ち上げることも、町の意向としてはほぼ決まっています。そのため、さらに今回答申に載せるというのは、何か歯車がかみ合っていないような気がしています。このような状況を踏まえて項目4は削除しても良いのではないかとのご意見があれば、この委員会では削除という決定をしたいと思っています。</p> <p>ただ、まだ実施はしていないので、来年度に向けて着実に実施してほしいというメッセージを残すという意味では、残しても良いかと思えます。私自身は正直入れなくても良いと思っていますが、いかがでしょうか。</p>
雑色委員	<p>○私としては現在の総合計画の中でやると言っていて、やらない、出来ていないというのは、これは公約違反に近いと思えます。民間であれば、徹底的にやられてしまいます。町民に公表できないということは、やっていないに等しいです。このことはきちんと書いてダメ押しをするべきだと思います。</p>
平井委員	<p>○私もこれは残すべきだと思います</p>
芦田委員	<p>○先ほどの会長の話は五次の話ですから、六次としてこの項目は入れないとならないと思えます。</p>
重田委員	<p>○この審議会はこれが出来上がったら解散ですよ。その後どこでチェックをするのかとなると議会になると思えますので、議会でチェックするものとして残しておいたほうが良いと思えます。</p>
芦田委員	<p>○企画課等でも評価するという事にもなるのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>●それは内部評価になります。内部で評価したものを、外部の人間が評価するのが外部評価です。内部評価は今までもやってきていて、外からの視点が入っていないという指摘を五次で受けていたということです。</p>
雑色委員	<p>○内部評価だと限度がありますよね。第三者の目で見るとというのが原則です。それをやると言っていないながら、やっていないということです。</p>
会長	<p>●それでは項目4は残すということにしたいと思えます。</p>
廣澤委員	<p>○項目3の「地域力、住民力」の具体的な内容をどのようにお考えなのか教えて頂けたらありがたいです。</p>
事務局	<p>◎一つは自治基本条例が出来て、住民と協働でまちづくりを推進していくということがあります。災害時なども公助だけでなく、自助・共助が重要といわれています。地域力と住民力はそれぞれどう違うのかと言われると辛いのですが、コミュニティを高めていくことで、外からだけの安心でなく自分たちでも安心を築いていくということも考えています。</p>
小松委員	<p>○自治会組織をしっかりとするという事でしょうか。</p>
廣澤委員	<p>○しっかりとした自治会組織とか、家同士のつながり等が含まれているのかと想像はつくのですが、地域の伝統文化や伝統工芸をどこに入れるかという問題は以前にもあったかと思えます。この項目3のところに「豊かな地域文化を備えた」などのような文言を入れてもらえたら嬉しく思います。地域文化という言葉があるかわかりませんが、中井町は郷土心を持っている方も多いと思</p>

	<p>ますので、その辺のことが入っていないように思えました。地域力、住民力に広い意味では入ってくるような気もしますが、どうでしょうか。</p>
会長	<p>●項目3は「安心」というタイトルなので、文化の問題を入れるならば、項目1か2の方が良い気がします。</p>
廣澤委員	<p>○入れるところには拘りはありません。中井町には色々な産業も必要だと思いますが、地域文化のようなこともあって良い気がします。</p>
咲間委員	<p>○項目2の「自然環境」のところに「自然と地域文化が調和し」とすると、快適という環境的な意味では同じようなカテゴリになると思います。</p>
小松委員	<p>○町長さんに出す答申ですよね。そうした細かいことが必要なのでしょうか。</p>
会長	<p>●なるべく皆さまのご意見を反映させた形で作文をと考えるならば、可能な限り入れたいというのが私の気持ちです。今おっしゃって頂いたように、「自然環境や地域文化が」とかいうような形で文章を練って頂けますか。</p>
岸委員	<p>○むしろ項目1の方が良いのではないのでしょうか。「誇りと愛着」につなげたほうが良いと思います。</p>
雑色委員	<p>○地域文化に誇りと愛着というのはつながると思います。</p>
会長	<p>●地方の有数な勢いのある町というのは、祭りが非常に盛んです。そうしたところは、地域力が高いという評価にもなります。</p>
岸委員	<p>○「活力」になりますね。「快適」という意味とは違いますね。</p>
小宮委員	<p>○項目3の「安心」なまちづくりの中で、事務局からは地域住民も頑張るといような話がありました。地域住民が頑張るためにという意味合いの言葉を入れて欲しいと思います。時々あるのが〇〇活動をやっているから安心だといわれて、やっているのは誰かという任意の団体で、実際のところどうなっているのかをその団体に聞いてみると、実は機能していない、ということもあるので、そうしたところをしっかりと把握して、地域の人が活動できるようにしてほしいと思っています。</p>
会長	<p>●住民力を上げる仕掛けを町長にも何かしてほしい、という文書ですかね。</p>
小宮委員	<p>○そうですね</p>
会長	<p>●町内会、自治会の再生、活性化というのが一番近いところにあるものだと思います。また地域にある企業と住民生活の連携などが、コミュニティの再生には不可欠な要素になります。町も認識はしていると思いますが、まだ決定打が出ていないのだと思いますので、この部分もまた少し町で考えて頂けたらと思います。項目を一つ増やすということでも良いと思います。</p> <p>冒頭部分の将来像の中で絵文字を使うことについて、先ほどご意見等出ましたけれど、私は賛成です。斬新で良いと思います。今までいくつか総合計画を見てきて、絵文字が登場したことはないのですが、若い人たちに向けて、一つのメッセージ性がある絵文字を使っても良いのではないかと思います。</p>
事務局	<p>別紙の「中井町のブランドイメージ」という資料の中で、「里都（さと）まち」という造語も出ていますが、この辺りの経緯について町から補足と説明があればお知らせ頂きたいと思います</p> <p>◎戦略みらい会議というこれから5年間の総合戦略を検討する会議の中で、中井町の良さは東名が非常に近く、都心からすぐに来られる、高速を降りたら自然があったり、素晴らしい中央公園があったりするところを中井町の魅力として活用しきれていない、というご提案を頂いた中で、従来も里山という中で、自然と工業団地のようなものなどが合わさったということを表現していましたが、里と都会的な都の二つをマッチングすることで、まさに中井町の特徴をうまく言い表せているのではないかと思います。造語にはなりますが、こうした表現もブランドメッセージとしてあるのではないかと思います。資料として出させていただきました。</p> <p>資料には4案ありますが、「一人ひとりが主役」ということを前面に押し出して、メッセージ性を</p>

	<p>出していくなれば、今までにない独自性としてハートのイメージと中井町のイメージをうまくつけて、ほっとするとか優しいという印象を中井町も目指していったらどうかと思いました。将来像にこのようにハートマークがついているという事例はないと思いますし、雑色委員のおっしゃったように何でこんなところにハートが、と目に飛び込んでくると思います。そうしたときに読んだ方が、将来像を何となしに認識してもらい、自分のものとしてもらえるような力となればと考えました。興味を抱くきっかけや、町への愛着につながればとも思いますし、次世代を担う若者や女性、子供たちに自分たちの町の将来性を決める総合計画に対して、身近なもの、関わりのあるものと感じてもらうための一つのツールにもなればと思います。また、行政はお堅いイメージがある中で、こうしたものを使って町も変わっていくという思いを同時に込めました。地方創生でも特色ある自治体として、シティセールスの一つに利用してはどうかと考え、ご提案させて頂きました。</p> <p>ハートがあるとニュースにもなりやすく、ハートを仕掛けにするのも良いかと思いました。</p>
会長	<p>●これを今後プレスリリース、報道してもらおうときにも、ハートがあるだけでももしかしたら食いつくかもしれません。</p>
雑色委員	<p>○お私みたいにおかしいなと思うところが、チャンスなのかもしれません。「里都まち」というのも変わりついでで良いかもしれません。少し軽いようなイメージもありますが、話題性はあるかもしれません。</p>
重田委員	<p>○ラジオで聞きましたが、京浜急行では、アベックシートというのがあって向かい合わせで4人乗れて、つり革がハートになっているそうです。鉄道会社同士の競争の中ではこうしたことも必要なかもしれないと言っていました。ただ、総合計画は今回限りのことではなくて、中井町がこれをやりたいということであれば、公共施設や公園の中などでハートにちなんだものを作るなどもやっていかないとならないと思います。ただ面白がって終わるのではなく、そうしたことも考えているのであれば良いと思います。</p>
会長	<p>●公園の花壇のレイアウトや、看板などにもハートを入れるとか、そうしたことがFacebookなどに載ってかわいい町がある、と世の中に広がる可能性は今では十分に考えられます。この将来像のフレーズだけにハートがあっても仕方ないので、これを一つのきっかけにして、色々なハートを産み出していくことが考えられると思います。</p> <p>「魅力育む」の後がスペースになっているので、これがさみしいような気がします。せっかくならここもハートを埋めるとかいかがでしょうか</p>
咲間委員	<p>○ハート自体が I ♡ (Love) NY のように♡ (Love) として若い世代には捉えられることがあると思うので、里都まち♡ (Love) なかい、というように、里都まちに対する愛がアピールされるので、ここだけにハートがあれば良いと思います。なかい Love というイメージで若者が捉えてくれると思います。見た瞬間若いなと感じました。</p>
会長	<p>●「育む」の後はスペースで良いですか。</p>
咲間委員	<p>○前のフレーズは力強くて、間にいったん柔らかく「魅力育む」という言葉があって、それからここが好きだよという印象を私は受けました。ハートを入れすぎるとくどくなるので、中井と里都まちの間だけに絞ったほうが印象的には良いと思います。</p>
会長	<p>●「魅力育む」の後はどうしましょうか。</p>
咲間委員	<p>○空白で良いと思います。</p>
岸委員	<p>○段組みによってもかなり違うと思います。三段で書くとなるとまた印象が違うと思います。</p>
会長	<p>●では、将来像は「里都」にはルビもふって頂いて、これまでの議論の形で修正をお願いします。他に何かございますでしょうか。</p>
重田委員	<p>○中井は山だという人もいますが、私は丘だという気がします。</p>

協議事項（３）基本計画策定スケジュールについて

・資料３にもとづき説明、および紹介

【協議】

- 会長 ●基本構想作りとしては本年度内になり、来年度からはより実質的な基本計画の策定に入っていくということで、何とか９月議会を目指して出していくことだと認識しています。８月に基本計画の答申で９月議会にかけるといふ流れだと考えます。総合計画審議会の来年度の３月にPDCAとありますが、もう少し前にしないと年度末ぎりぎりでもPDCAをやっても意味がありませんから、これはもっと前の段階に入ってくるのだと思います。スケジュールは８月くらいまでは確実にこのスケジュールで進んでいくのだと認識して頂いて、それ以降はまだ確定していない部分もあると思うので、今後みなさんにご意見を交わしながら決めていく流れだと思います。
- 平井委員 ○基本計画も議会議決をするのでしょうか
- 会長 ●そういう流れです。構想と計画をワンセットにして冊子を作ります。
- 芦田委員 ○第五次のPDCAがまだ出来てないという件や、六次の計画とリンクしてくるのではないかとこの質問もあつたと思いますが、その辺は絡めなくていいのでしょうか。
- 会長 ●本当は絡めたいと作り上げていく必要があると思います。五次の状況は私は把握していませんので、私からコメントはできないのですが。
- 芦田委員 ○同じような項目がいくつかあつて仕分けしていたかと思つたので、完了したものと継続していくものを六次にどう展開していくかが必要でしょうね。
- 会長 ●計画策定を受託されているアルパックさんが、五次を精査し、仕分けして六次にまとめ上げていくということだと思います。PDCAのCはチェックという意味ですから、Cの部分で外部評価が入ってくるのが本来の姿かもしれませんが、そこはまだ出来上がっていません。アルパックさんも外部の人間ですから、それに準じたものにしていただいているとは思つた。
- 事務局 ◎第五次の評価は、内部評価されたものを参考にしながら、次期の策定をしているというところですが、内部評価は関与できない部分になりますので、その点についてはご理解頂きたいと思つた。
- 会長 ●内部で評価されたものを土台に、アルパックさんの方で策定されているということですね。
- 事務局 ◎第五次の評価について、実施計画で平成25年度の実施計画の評価が出来ており、これを参考に第六次に向けて、継続、廃止、新規で行うものを検討しているところですが、芦田委員が言われた第五次全体の評価というのは、現実出来ていないというのが現状です。毎年毎年実施計画を内部評価で行つていきますので、それをもって第六次に引き継いでいくという考え方で作業を進めていきます。
- 事務局 ◎資料２の答申案についてみなさまからご意見を頂いたものは、事務局で一度預らせて頂き、皆さまからのご意見を踏まえて、もう一度思案していきたいと思つていますが、ただ、体制的にもスケジュール的にも今年度もう一度開くことが出来ませんので、諸坂会長にご相談ご提示させて頂き、皆さまの代表としてご意見伺つて確定させていきたいと思つていますが、よろしいでしょうか。
- 会長 ●責任をもって検分させて頂きます。

４ その他

- 熊谷委員 ○先ほどの答申を会長さんと確定させていくということでしたが、それを頂くことは出来ますか。

事務局	◎先生に確認して頂いて、メールが分かる方にはメールで、それ以外の方には郵送で送付させていただきます。
事務局	◎今年度はこれで最後の委員会となりますが、4月からは基本計画についてご審議頂きたいと思しますので、引き続きご協力をお願いします。 以上